

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月10日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機残留熱除去海水系(B)配管の内面塗装剥離について】 協力企業作業員が5号機残留熱除去海水系(B)配管の点検において、配管内面の腐食を抑制するための塗装の一部が剥離していることを確認。 当該配管の外観を確認したところ、大きな減肉は見られず、内部に取り付けられた防食亜鉛棒も健全であり、海水の漏れも発生していないことからシステムの機能に問題なし。 今後、修理予定。</p>	GⅢ	3月4日
2	<p>【6号機残留熱除去海水系(A)ポンプ吐出ストレーナの差圧指示計ラック入口弁高圧側接続部からの海水の滴下について】 当直員が6号機残留熱除去海水系ポンプ(A)の運転確認時に吐出ストレーナの差圧指示計のラック入口弁高圧側接続部からの海水の滴下を確認。 漏れ量は、60秒に1滴程度で、漏れ水受けを設置し回収している。 当該ポンプについては、機能上問題なく運転している。 今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	3月8日